

ポスト「京」の計算資源配分（案）

文部科学省 研究振興局
参事官(情報担当)付 計算科学技術推進室

ポスト「京」の計算資源配分について

「京」での実績・経験、本委員会でのご意見、HPCIコンソーシアム提言等を踏まえ、ポスト「京」の計算資源配分は以下のとおりとする。（「京」の計算資源配分（平成26年度）は別添を参照）

1. 考え方

- 「京」における戦略プログラムの有効性を踏まえ、トップダウン的に選定されたポスト「京」で重点的に取り組む社会的・科学的課題に対して戦略的に計算資源を割り当てる「重点課題枠」を設け、一定割合の計算資源を配分する。
- 産業界の更なる利用促進のため、産業界の研究課題に対して計算資源を割り当てる「産業利用枠」を設け、一定割合を配分する。
- 「京」での実績および分野コミュニティの重要性を踏まえ、ポスト「京」を利用する一般的な研究全般に対して計算資源を割り当てる「一般利用枠」、分野コミュニティにおけるボトムアップ的な研究開発や分野振興利用に対して計算資源を割り当てる「分野振興枠」を設け、一定割合の計算資源を配分する。
- 「京」での経験を踏まえ、政策的に重要かつ緊急な課題の実施に備える「政策対応枠」を設け、予め一定割合の計算資源を配分する。

2. 計算資源配分（案）



① 調整高度化枠

ポスト「京」の安定運転のためのシステム調整、ユーザ利用支援のための研究開発、幅広いユーザの利用に資する高度化研究を実施。

② 一般利用枠、分野振興枠

一般利用枠は、一般的な研究全般を対象とする研究課題（産業界による自社の研究課題を含む）。共用開始後の利用のニーズ等も踏まえ、柔軟に対応し、必要に応じて弾力的に見直し（公募）。分野振興枠は、分野コミュニティに対し、文部科学省が配分内容を決定（非公募）。

③ 産業利用枠

産業界による自社の研究課題が対象（公募）。

④ 重点課題枠

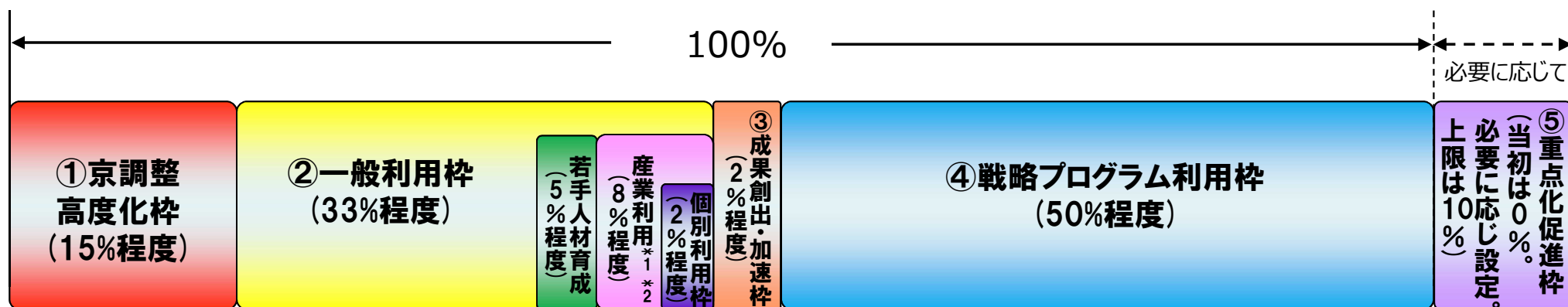
重点課題（10課題程度）に対し、文部科学省が配分内容を決定（非公募）。

⑤ 政策対応枠

政策的、重要かつ緊急な課題の実施（課題が設定されれば、他の利用枠より優先的に実施）（非公募）。

「京」の計算資源配分（平成26年度）

（別添）



*1 産業利用は実証利用（無償）と個別利用（有償）からなる。 *2 産業利用8%のうち2%については個別利用枠とし、随時募集制度を導入。

① 京調整高度化枠

「京」の安定運転のためのシステム調整、ユーザ利用支援のための研究開発、幅広いユーザの利用に資する高度化研究を実施。

② 一般利用枠（産業利用と若手人材育成を含む）

「京」を利用する一般的な研究全般を対象とする研究課題。共用開始後の利用のニーズ等も踏まえ、柔軟に対応し、必要に応じて弾力的に見直し（公募）。

③ 成果創出・加速枠

一般利用及び戦略プログラム利用において実施中の課題の中から、早期の成果創出に向け、加速すべき課題への追加配分の枠として設定（非公募）。

④ 戦略プログラム利用枠

戦略機関が提案した利用希望課題について、文部科学省が配分内容を決定。50%程度の内、一定割合を留保し、進捗に合わせて重点的に配分（非公募）。

⑤ 重点化促進枠

政策的、重要かつ緊急な課題の実施（当初は留保せず、課題が設定されれば、他の利用枠より優先的に実施）（非公募）。